

資料編 (3)伊達市の現状

平成26年度に「健幸都市基本計画」を策定。「安心して子育てができ、安心して歳がとれるまち」を実現するため、3つの基本方針(健康づくり・暮らしづくり・ひとづくり)のもと、総合政策として全庁的な取組みを進めている。

ア 人口

ア-1 人口(平成27年10月1日現在)

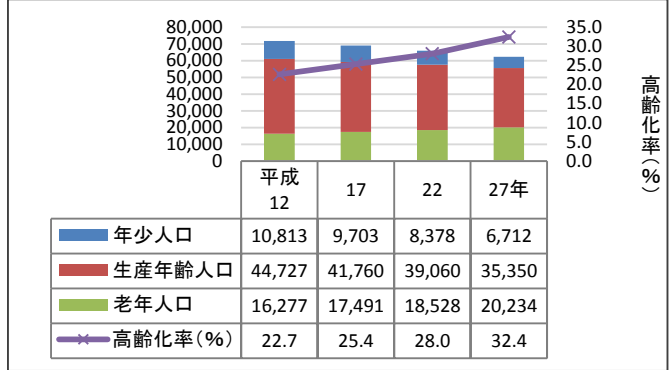
図1

	人数(人)	人口に占める割合(%)		
		伊達市	県北	福島県
総人口	62,400			
年少人口 (0~14歳)	6,712	10.8	11.7	12.1
生産年齢人口 (15~64歳)	35,350	56.7	59.3	59.2
老年人口 (65歳以上)	20,234	32.5	29.1	28.7
(75歳以上)	10,754	17.3	15.1	15.0

(資料:福島県現住人口調査年報)

ア-2 年齢3区分人口の推移

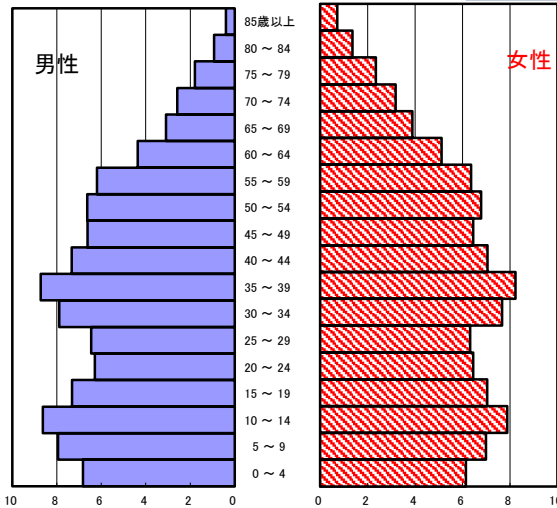
図2



※3区分人口のうち老年人口については、65歳~74歳、75歳以上に分けて表示した。
※市町村合併前の人口は加算していない。(資料:国勢調査、福島県現住人口調査年報)

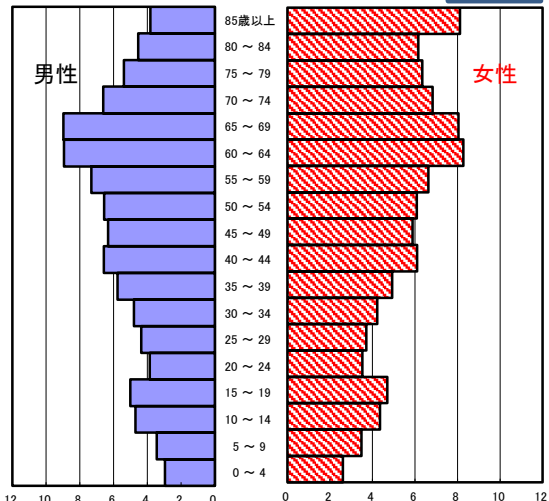
ア-3 人口ピラミッド
昭和60年(1985年)

図3



平成27年(2015年)

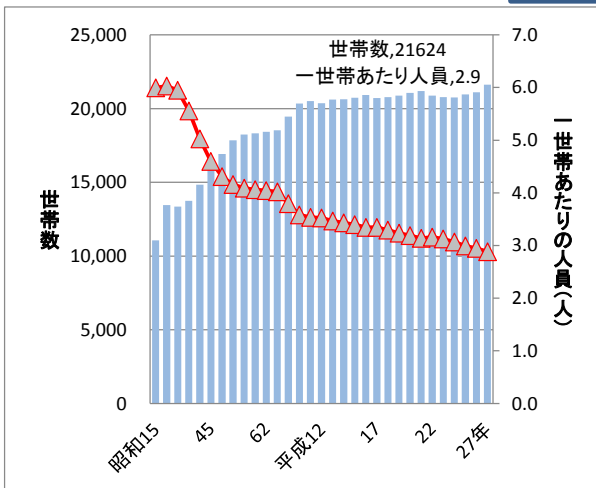
図4



※市町村合併前の人口は加算していない。(資料:国勢調査、福島県現住人口調査年報)

ア-4 世帯数と一世帯あたり人員

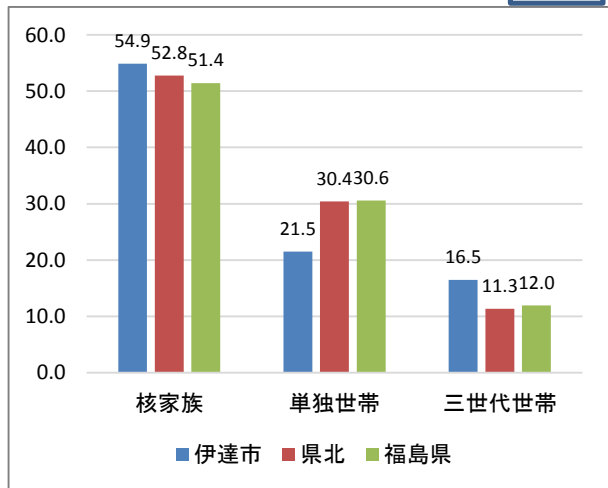
図5



(資料:福島県現住人口調査年報)

ア-5 世帯数構成割合(平成27年)

図6

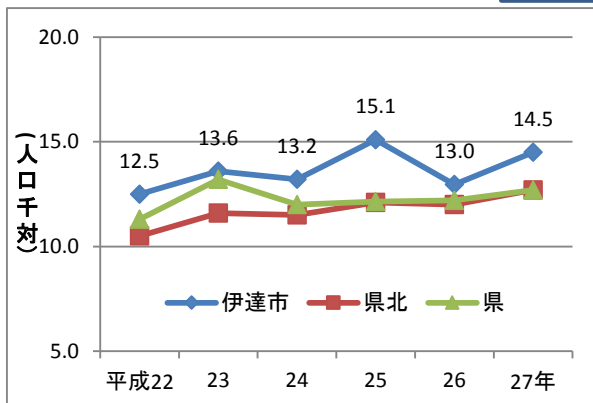


(資料:国勢調査)

イ 死亡の状況

イ-1 死亡率(人口千対)

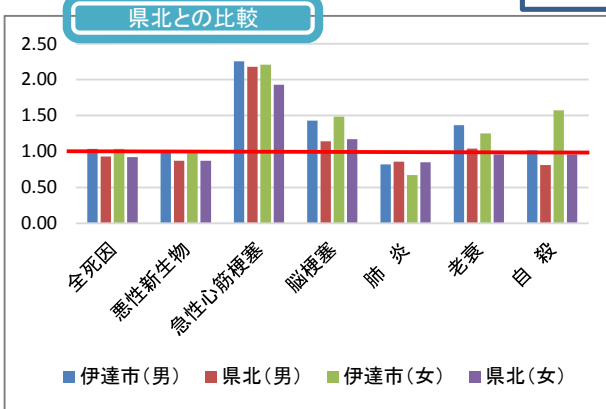
図7



(資料:保健統計の概況)

イ-2 標準化死亡比(SMR)※平成23年~27年

図8

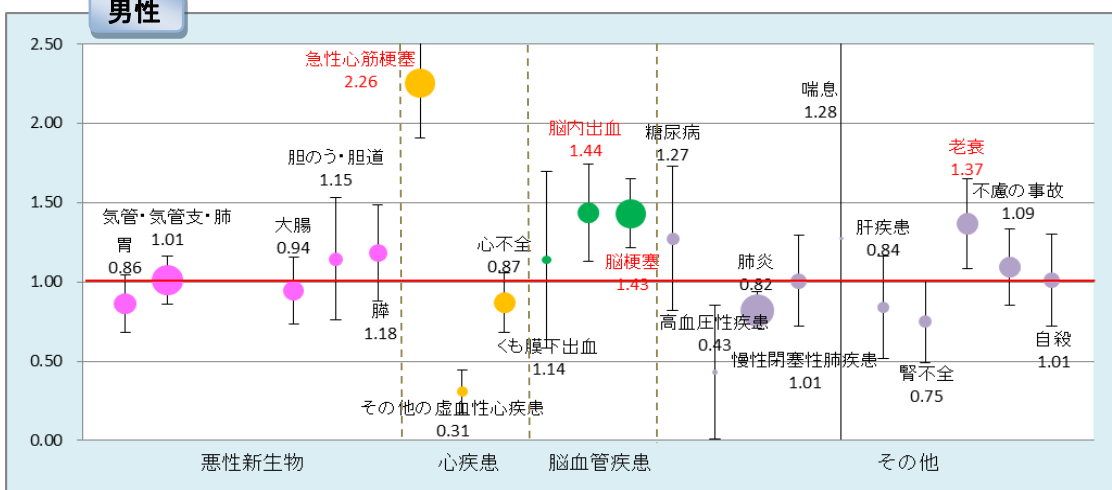


(資料:人口動態統計を基に特別に算出)

イ-4 標準化死亡比(SMR)平成23年~27年

男性

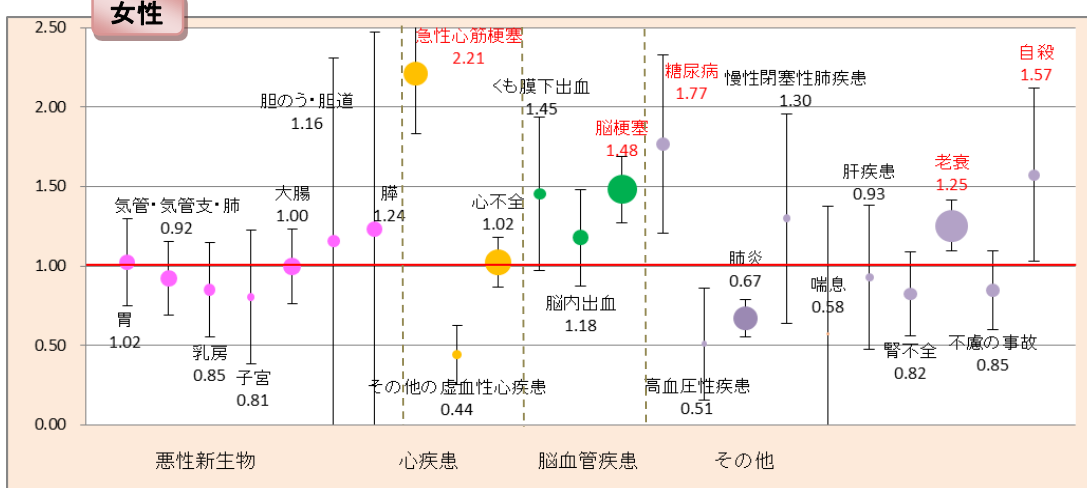
図9



(資料:人口動態統計を基に特別に算出)

女性

図10



(資料:人口動態統計を基に特別に算出)

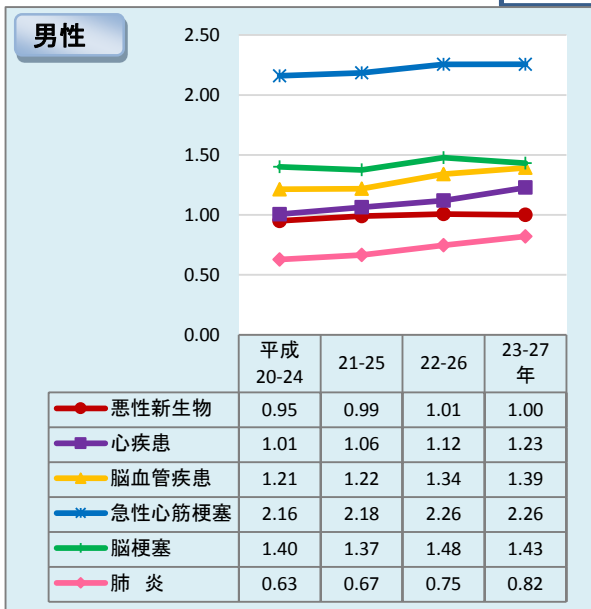
※ 標準化死亡比

年齢構成の異なる地域間の死亡状況を比較するために所定の計算式により算出したもの。全国平均を1としており、1より大きい場合は全国平均より死亡率が高く、1より小さい場合は死亡率が低い。

- 死亡率は、県、県北を上回っている。(図7)
- 標準化死亡比の男性は急性心筋梗塞、脳内出血、脳梗塞が有意に高い。
- 女性は急性心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病等が有意に高い。(図9~12)

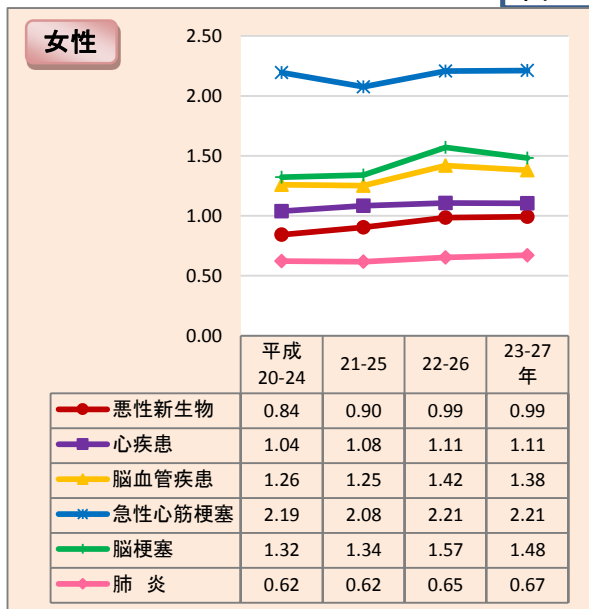
イ-4 標準化死亡比(SMR)年次推移

図11



(資料:人口動態統計を基に特別に算出)

図12

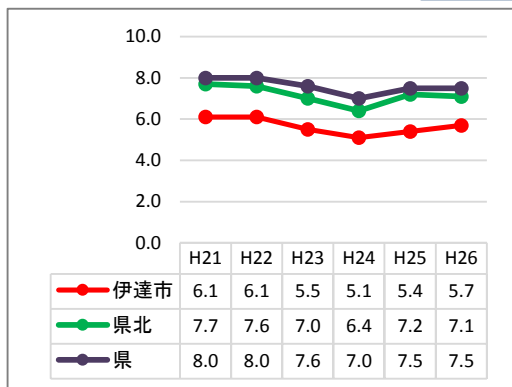


(資料:人口動態統計を基に特別に算出)

ウ 出生の状況

ウー1 出生率の推移

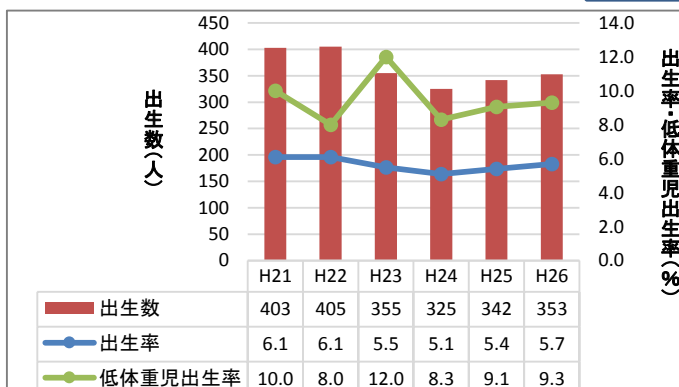
図13



(資料:保健統計の概況)

ウー2 出生数・出生率・低出生体重児出生率

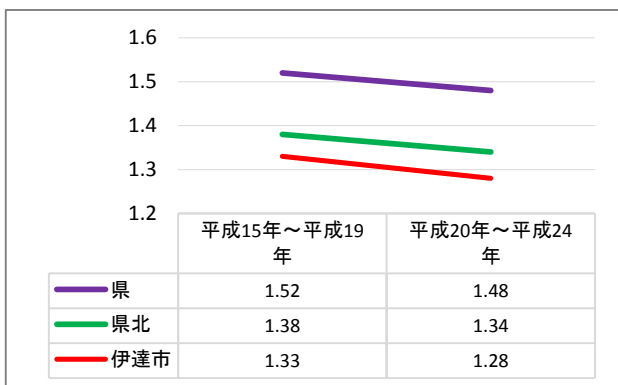
図14



(資料:保健統計の概況)

ウー3 合計特殊出生率(ベイズ推定値)の推移

図15



(資料:保健統計の概況)

- 出生率は、県・県北を下回っている。(図13)
- 低出生体重児出生率は、増加傾向にある。(図14)
- 合計特殊出生率は、減少している。(図15)

※合計特殊出生率

15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当する。

※ベイズ推定値

小地域のデータの不安定性を緩和し、安定的な推定を行うための手法。

エ 歯科保健の状況 (資料:母子保健事業実績、歯科保健情報システム、学校統計調査)

エー1 乳幼児及び学童のう蝕の状況

図16

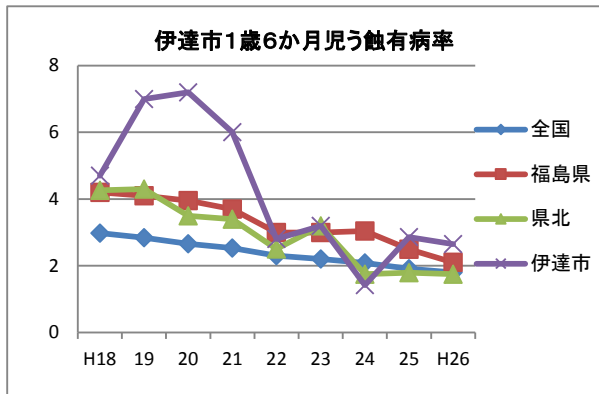


図17

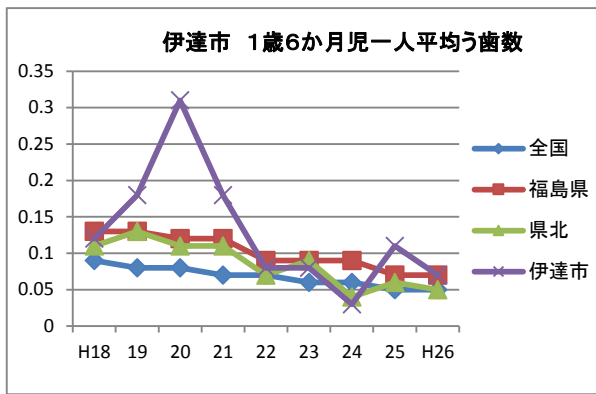


図18

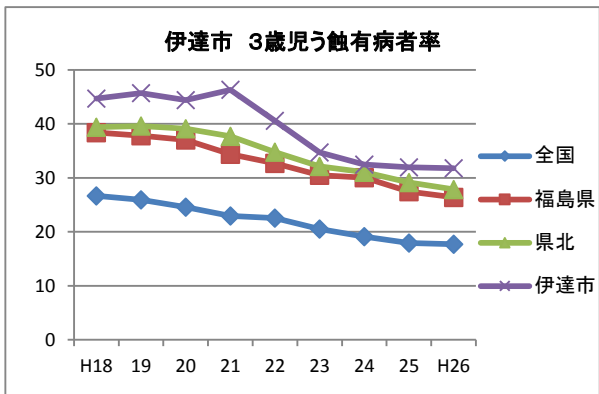


図19

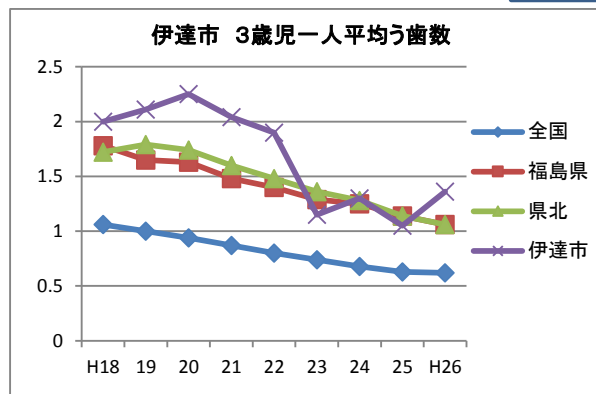


図20

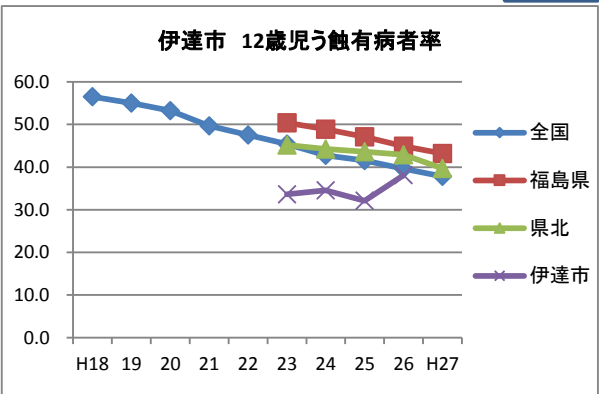
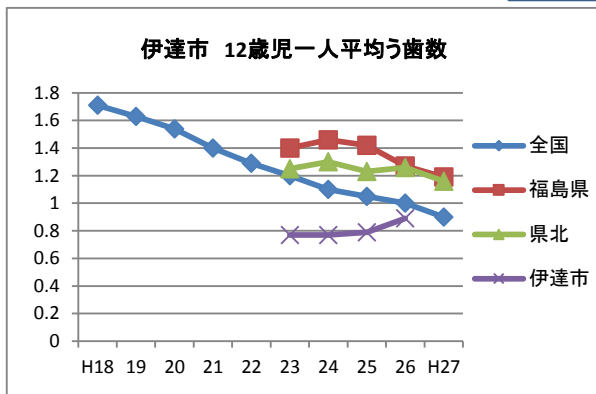


図21



オ 特定保健指導終了者の割合

図22

